事業名（５）障害者の就労及び自立支援に関する事業

平成３０年度　但馬障害者就業・生活支援センター　リンク　事業報告

（雇用安定等事業、生活支援等事業、障害者雇用就業・定着拡大推進事業）

はじめに

　障害者就業・生活支援センター事業を国（兵庫労働局）及び県（障害者ユニバーサル推進課）から受託することとなって２年目の年となり、登録者の伸びも予想以上となった。

　また、各市町の自立支援協議会や就労アセスメントの活用等に向けた研修会などで関係機関との連携も深まり、多くの協力をいただいた。

　さらには障害者就労支援セミナーの開催や城崎温泉障害者インターンシップ事業の協力などで、地域の就労支援スキルの向上につながる恒例となる活動を始めた１年となった。

１　事業の目的

　　社会生活における自立を図るために就業及びこれに伴う日常生活上の支援を必要とする障害者に対し、雇用、保健、福祉、教育等の関係機関との連携を図りながら、必要な援助、助言その他の支援を行うことにより、障害者雇用の促進及び職業の安定を図ることを目的とする。

２　事業の内容

（１）障害者就業・生活支援センター事業（雇用安定等事業及び生活支援等事業）

①対象者

　　　　　平成３１年３月３１日現在の登録者は３０４名。手帳を基に分類しているため、数字には表れていないが、発達障害の診断を受けている方が多い。発達障害の診断を受けている方も含まれるが、手帳を取得されていない方の相談も多くなっている。

|  |  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- | --- |
|  | 身体障害者 | 知的障害者 | 精神障害者 | その他 | 合　計 |
| 登録者数 | ３６ | １１９ | ９５ | ５４ | ３０４ |
| 相談件数 | １８２ | ７９２ | ５４８ | ４６２ | １，９８４ |

②業務内容

ア　支援対象者の把握

相談受付票及びアセスメント様式を使用し、障害者本人や家族、関係者等から支援対象者の障害の状況やこれまでの経歴、相談に係る問題点等についての把握に努めた。

イ　就労支援計画の策定

　把握した支援対象者の状況に応じ、支援の見通しを立てた上で支援を行った。

計画については、兵庫障害者職業センターと連携してジョブコーチ支援計画の中に連携の方法などを示していただいた。今年度は１件のみであり、計画を明文化して支援していくことが大きな課題となっている。

ウ　基礎訓練の実施（４件）

　　　法人内外の就労系障害福祉サービス事業所の協力を得て、支援対象者の能力・特性等の把握、就労に向けた訓練及び社会性の形成等を目的とした基礎訓練を４件実施した。

エ　職場実習のあっせん

　　　就職のために有効であると思われる場合には、企業等に協力を依頼し、職場への適合性を見極めることを目的として、３４件の職場実習のあっせんを行った。

　オ　就職に向けた準備等の支援

　　　公共職業安定所に求職登録をしていない支援対象者に対し求職登録を促し、必要に応じて公共職業安定所に支援対象者と同行訪問を行った。

【平成３０年度実績】

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
| 項　目 | 平成３０年度目標 | 平成３０年度実績 |
| 支援対象者数 | ２８５人 | ３０４人 |
| 障害者に対する相談・支援件数 | ２，０００件 | １，９８４件 |
| 職業準備訓練及び職場実習のあっせん件数 | ３５件 | ３４件 |
| 就職件数 | ２５件 | ２７件 |

③関係機関との連絡調整

　　　　支援対象者が持っている問題の解決のために、公共職業安定所、障害者職業センター、特別支援学校、職業能力開発校、社会福祉施設、医療施設等の支援を受けることが必要と判断したときには、関係機関との連絡調整を行った。

　　　　兵庫労働局主催の兵庫県障害者就業・生活支援センター事業連絡会議（１０月３０日及び２月１８日）に出席し、県内の障害者雇用政策や公共職業安定所のチーム支援や特別支援学校との連携についての意見交換を行った。

　　　　兵庫県主催の兵庫県障害者就業・生活支援センター等連絡協議会及び兵庫県障害者雇用・就業支援ネットワーク会議に出席し、県内の障害者就業・生活支援センターで各地域の課題や取り組みについての情報交換を行った（連絡協議会３回、ネットワーク会議２回出席）。

　　　　就労支援に係る連絡調整業務を円滑に行うことや、地域の就労支援に関する情報の共有を目的として、但馬地域障害者雇用・就業支援ネットワーク会議を３回開催し、各市町の自立支援協議会の就労に関する取り組みの共有、各市町障害福祉計画の進捗確認や就労アセスメントマニュアルの改善について議論を行った。

　　　　また、障害者雇用や職場実習に関する企業情報の共有や就労支援スキルの向上を目的とした障害者就労支援連絡会議を３回開催し、就労支援に関する地域課題や就労アセスメントの運用について議論を行った。

　　　　その他、出石特別支援学校みかた校の学校評議員に就任し、２回学校評議員会に出席した。

【障害者雇用・就業支援ネットワーク会議】

|  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- |
| 会　議 | 月　日 | 場　所 | 参加機関数 | 参加人数 |
| 第１回 | ７月２５日 | 但馬長寿の郷 | ２７ | ３４ |
| 第２回 | １２月２０日 | 但馬長寿の郷 | ２６ | ３３ |
| 第３回 | ３月２５日 | 但馬長寿の郷 | ２７ | ３３ |

【障害者就労支援連絡会議】

|  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- |
| 会　議 | 月　日 | 場　所 | 参加機関数 | 参加人数 |
| 第１回 | ６月２８日 | 豊岡公共職業安定所 | １７ | ２０ |
| 第２回 | １１月２７日 | 豊岡公共職業安定所 | １６ | １８ |
| 第３回 | ２月２６日 | 豊岡公共職業安定所 | １７ | ２３ |

④各種障害者雇用支援制度の活用

公共職業安定所と連絡調整を行い、支援対象者の就労支援のための各種制度の活用を図った。

⑤職場定着支援及び生活支援

ア　職場訪問による定着支援

在職中の支援対象者に対し、職場環境の調整、作業指示の工夫など必要に応じた支援を行った。職場訪問による定着支援は延べ２０９件となった。

　　　　イ　生活支援

　　　　　　支援対象者の生活習慣の形成、健康管理や金銭管理等に関する支援、その他必要に応じて医療機関の利用に係る支援も行った。また、障害年金の受給申請や各種障害福祉サービスを利用するために相談支援事業所と連絡調整を行った。

　　　　ウ　在職者交流会

在職中の支援対象者等に対して学習会と茶話会をセットにして４回開催し、職場での悩み等の相談、不適応課題への気づきや改善、趣味の共有等から就労意欲の向上及び職場定着の促進を図った。

【在職者交流会】

|  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- |
| 会　議 | 月　日 | 場　所 | 内　容 | 参加人数 |
| 第１回 | ６月１６日 | 豊岡地区ｺﾐｭﾆﾃｨｾﾝﾀｰ | 身だしなみについての学習会及び茶話会 | ８ |
| 第２回 | ９月１５日 | 豊岡地区ｺﾐｭﾆﾃｨｾﾝﾀｰ | 交通事故対応についての学習会及び茶話会 | １０ |
| 第３回 | １２月１５日 | 豊岡地区ｺﾐｭﾆﾃｨｾﾝﾀｰ | 調理実習及び茶話会 | １１ |
| 第４回 | ３月１６日 | 豊岡地区ｺﾐｭﾆﾃｨｾﾝﾀｰ | SNSトラブルについての学習会及び茶話会 | １２ |

⑥但馬圏域の障害者就労支援環境の整備

　　　　ア　就労支援スキルの向上や障害者雇用や職場定着の促進を図るため、支援対象者、事業主、支援者を対象にして、兵庫労働局及び豊岡公共職業安定所と共催で但馬地域障害者就労支援セミナーを１２月５日（水）に但馬長寿の郷で開催し、４８名（関係者除く）の参加があった。

　　　　イ　就労系障害福祉サービスに係るアセスメントの整備と適切な運用を行うため、但馬障害者雇用・就業支援ネットワークを活用して運用管理を行い、また、就労アセスメントスキル向上のための研修会（於：第２和生園　１０月２２日　１４名参加）で実施し、就労支援機関による就労支援に係るアセスメントスキルの向上を図った。

　　　　ウ　各市町の自立支援協議会と連携し、事業主への障害者雇用の啓発活動や支援者の就労支援スキルの向上、障害者就労に係る各種制度の創設など障害者就労やその支援に係る環境整備を行った。

　　　　エ　引きこもりやニートの大半は発達障害のある疑いがあるということから、豊岡市からの参加要請を受けて豊岡市ひきこもり支援連絡会議に出席し、ひきこもり事例の支援についての議論に参加した。

　　　　オ　公的機関の障害者雇用を進めるためのセミナーやアメニティフォーラムなどに参加し、就労支援に関する情報収集及び支援スキルの向上を図り、障害者就労支援セミナー及び日常の支援の中で知識や支援スキルを地域に還元した。

|  |  |
| --- | --- |
| 会議等名称 | 出席回数 |
| 但馬圏域障害者相談支援事業担当者連絡会 | １０回 |
| 豊岡市障害者自立支援協議会全体会及びしごと部会 | ７回 |
| 南但馬（養父市・朝来市）自立支援協議会全体会、運営会議及びしごと部会 | １８回 |
| 香美町障害者地域自立支援協議会運営会議及び実務者会議生活・しごとグループ | １３回 |
| 新温泉町障がい者自立支援協議会実務者会議就労グループ | １２回 |
| 豊岡市ひきこもり支援連絡会議 | ６回 |

⑦事業主に対する雇用管理に関する助言

ア　企業や在職中の支援対象者から相談があった場合に、事業主に対して雇用管　理に関する助言等を行った。

イ　支援対象者の能力や特性を踏まえて、雇用管理上必要な措置等についての情報を伝えるとともに、職場不適応が生じた場合の支援を行った。

【平成３０年度実績】

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
| 項　目 | 平成３０年度目標 | 平成３０年度実績 |
| 企業に対する相談・支援件数 | ４７０件 | ４７７件 |
| 企業訪問による定着支援件数 | ２００件 | ２０９件 |
| 定着率（就職後１年）  ※前年度就職者が対象 | ９０％ | ９０．４％ |

（２）障害者雇用就業・定着拡大推進事業

　　　①事業の目的

　　　　　但馬地域障害者雇用・就業支援ネットワーク等を活用しつつ、障害者の身近な地域において、就業・生活両面の支援が一体となったきめ細かな就職支援を行うことにより、障害者の雇用・就業及び職業的自立を促進する。

②事業の対象者

　　　　ア　但馬圏域在住または圏内での就職を希望する障害者（就職後職場定着に取り組む障害者を含む）

　　　　イ　県内事業所で求職者の適性や希望等に合致する職務内容及び労働条件等を備えた事業主

③事業の内容

　　　　ア　就職を希望する障害者に対する相談、助言、指導

　　　　イ　求職障害者に対応した訓練、実習先・就職先の開拓

　　　　ウ　障害者の就職後の職場定着に向けた障害者、事業主に対する支援

　　　　エ　障害者の就労支援に当たっての就業支援機関との連携・調整

　　　　　【平成３０年度実績】

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
| 項　目 | 平成３０年度目標 | 平成３０年度実績 |
| 職場実習協力企業数 | ５０事業所 | ７３事業所 |
| 訪問企業数 | ８５事業所 | ９７事業所 |